

Infrastructure Investor Network Tokyo Forum (インフラ投資家ネットワーク東京フォーラム)

6月4日(木)、マンダリン オリエンタル 東京 (韓国時間 / 日本時間)
日本人投資家とのライブセッション (日本語・英語同時通訳あり)

8:30 受付・ネットワーキング

9:00 PEI (投資家代表) および議長による開会挨拶

9:10 基調講演

講演者：鬼塚貴子氏 (経済産業省/METI 環境金融室長)

9:30 基調パネルディスカッション：脱グローバル化が進む世界におけるインフラ投資の機会

- ・ リショアリング (欧州 / アジア) の恩恵を受けるのはどの市場か、また構造的に不利な立場にあるのはどの市場か
- ・ 投資家は地理的リスクと規制リスクをどのように再考すべきか
- ・ デジタル化と脱炭素化のテーマは今後も主流であり続けるのか、投資家が注目すべき新たなトレンドとは何か

モデレーター：フィリップ・ウィンド氏 (La Caisse、オペレーティング・パートナー)

講演者：マルタ・ペレス氏 (アリアンツ・グローバル・インベスターズ、インフラストラクチャ部門 最高投資責任者 CIO)

ギヨーム・フリーデル氏 (アンティン・インフラストラクチャー・パートナーズ、シニア・パートナー兼ニューヨークオフィス共同責任者)、ダニー・レイサム氏 (イグネオ・インフラストラクチャー・パートナーズ、パートナー)

講演者：アイ・スクエアード

講演者：ヴォーバン・インフラストラクチャー・パートナーズ

10:20 休憩



10:50 パネルディスカッション：未来のインフラを支える電力供給

- 電力ネットワークの近代化：投資家は長期的な信頼性を確保するために、送配電システムをどのように強化・近代化しているのか
- AIを支えるエネルギー：グローバルなデータセンター拡張に伴う膨大な電力需要を支えるために、どのような投資戦略が生まれているのか
- 電力ミックスのバランス：再生可能エネルギー、原子力、送電網のアップグレード、蓄電ソリューションは、次世代のエネルギーインフラをどのように形作っていくのか

モデレーター：ユーリー・ハンバー氏、ユーリ・グループ社長

講演者：ヨースト・ベルグスマ氏（ヌビーン・インフラストラクチャー
リーンエネルギー部門グローバルヘッド）ライアン・チュア氏（ストーン
ピーク シニアマネージングディレクター）

11:40 プレゼンテーションアルファの測定と市場アウトパフォーマンスに基づくファンド選

定 講演者：フレデリック・ブラン＝ブルード氏（サイエンティフィック・インフラ&プライベート・アセット（SIPA）CEO）

12:00 昼食・ネットワーキング

13:00 パネルディスカッション：コアプラスへのシフト：リスク、価値創造、

安定性の再考 ②リスクカーブ上昇の原動力とは

②投資家は付加価値リスクを取らずに、どのようにして二桁のリターンを達成できるのかコアプラスとは、リスク、リターン、あるいはその両方を重視するものなのか

モデレーター：Tatsuro Ejiri 氏（アクシア・ジャパン シニアバイスプレジデント）

講演者：セルカン・バチエチ氏（アルジュン・インフラストラクチャー・パートナーズ
パートナー兼リサーチ責任者）

アリスター・レイ氏（ダルモア・キャピタル 最高投資責任者）

フィリップ・ケント氏（グラビス 最高経営責任者）

ジェフ・ペントランド氏（ノースリーフ・キャピタル・パ
ートナーズ マネージングディレクター） ロジャー・ロイド
氏（パリセード・インベストメント・パートナーズ会長）

13:45 プレゼンテーション



イベントの詳細については、[イベントウェブサイト](#)をご覧ください。

14:05 パネルディスカッション：日本のLP（リミテッドパートナー）によるデジタルインフラ戦略：アロケーション、リスク、価値創造

- 現在、最もリスク・リターン比率の高い投資先はどの国または分野（データセンター、光ファイバー、タワーなど）か
- デジタルインフラ資産の開発における最大の障害は何であるか、またそれらをどのように軽減するか
- この分野への投資は、単一資産投資からプラットフォーム投資へと移行する中で、どのように進化してきたのか

モデレーター：アリ・ドルーカー氏（フライングポイントキャピタルアドバイザー）

講演者：アレス・マネジメント

モリソン

ジョシュ・オボラー氏（パリストター・キャピタルパートナー）

14:50 休憩

15:20 パネルディスカッション：インフラ輸送の復活：メガトレンドの活用

- 輸送分野における実行可能なパイプラインはどこにあるのか（高速鉄道、貨物輸送回廊、港湾・物流ハブ、EV充電ネットワーク、自動運転インフラ）
- 脱炭素化、デジタル化、サプライチェーンのレジリエンス、そしてそれらが輸送インフラの再構築に与える影響
- 輸送におけるリスク・リターン特性の理解：長期キャッシュフロー、インフレ連動性、規制リスク

モデレーター：トム・テイラー氏（インフラストラクチャー・インベスター誌レポーター）

講演者：ジョン・ハンナ氏（バサルト・インフラストラクチャー・パートナーズ マネージングパートナー）

ニック・ギブソン氏（グライドウェイズアジア太平洋地域プレジデント）

Tokushi Kojima 氏（OMERS 戦略的パートナーシップ担当マネージングディレクター

一、NIIF 講演者）

カール・エリア氏（TD アセットマネジメント グローバルインフラ投資担当バイスプレジデント兼ディレクター）

16:10 パネルディスカッション：コアからトランジションへ：日本の機関投資家の次の動き

- グローバル・アロケーション戦略：現在のマクロ経済環境において、日本のLP（リミテッド・パートナー）は海外投資をどのように考えているのか
- ポートフォリオ構築：コアとコアプラスは依然として中心だが、日本の投資家はエネルギー転換やデジタルインフラといったバリューアッド戦略やテーマ型戦略への投資拡大にどの程度積極的か
- リスク管理：LPはテクノロジーの破壊的変化や地政学的リスクをシナリオプランニングにどのように組み込んでいるのか

モデレーター：小泉貴子氏（Konomi, Inc. マネージングディレクター）

講演者：Kosuke Hotchi 氏（大同生命保険 ファンドマネージャー）

Kenichiro Matsunaga 氏（ゆうちょ銀行 インフラ投資部長）

Masamichi Sato 氏（かんぽ生命保険 インフラ投資部長）

Junichi Yonezawa 氏（農林中金全共連アセットマネジメント オルタナティブ投資部門責任者）

高雅邦 (Masakuni Taka) 氏（オリックス生命保険 プライベート・アセット運用部 投資担当シニアディレクター）

17:00 5 分間の休憩

17:05 閉会基調講演

17:30 カクテルパーティー

6 月 5 日（金）、マンダリン オリエンタル 東京（韓国時間 / 日本時間）

日本人投資家とのライブセッション（日本語・英語同時通訳あり）

8:00 実物資産ワークショップ

8:30 受付・ネットワーキング

9:05 PEI による開会の挨拶

9:10 基調講演

田中麻理氏（年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）民間投資部 調査・データ分析部長）



イベントの詳細については、[イベントウェブサイト](#)をご覧ください。

9:30 基調パネルディスカッション：実物資産と実物資産投資戦略の融合の進展

- 融合のトレンド：電力網、データセンター、光ファイバーネットワーク、物流資産の相互依存性の高まり、そして投資家がこれらを統合されたエコシステムの一部として評価すべき理由
- 主要な LP と GP が、エネルギーアクセス、デジタル容量、物理的流通の優位性を組み合わせたマルチアセット運用プラットフォームへと移行している理由
- 融合の進展を踏まえ、GP は実物資産チームと戦略のリソース配分と再編をどのように行っているのか

モデレーター：濱康彦氏（クロスポイント・アドバイザーズ マネージング ディレクター）

講演者：ピーター・ホップス氏（bfinance マネージングディレクター）

Keigo Yumino 氏（科学技術振興機構（JST）シニアマネージャー）

10:20 休憩

ストリーム A：インフラ投資の徹底分析	ストリーム B：実物資産とプライベート市場への投資入門
<p>10:50 パネルディスカッション：エネルギー貯蔵に焦点を当てる</p> <ul style="list-style-type: none">• どのような新しいエネルギー貯蔵技術が登場しているのか。LP（リミテッド・パートナー）は、それらのリスク・リターンと拡張性をどのように評価すべきか• 投資家はこの分野におけるマーチャントリスク、キャッシュフローの安定性、その他の課題にどのようにうまく対処しているのか• 投資家はエネルギー貯蔵へのエクスポージャーをどのように構築すべきか。直接投資、共同投資、ファンド、プロジェクトプ	<p>10:50 パネルディスカッション：プライベート市場におけるインフラと不動産—ポートフォリオにおける役割の理解</p> <ul style="list-style-type: none">• LP（リミテッド・パートナー）は、収益の安定性、インフレ連動性、分散投資、長期的な資本保全を実現する上で、不動産とインフラの役割をどのように区別すべきか• 日本の LP が強靱な実物資産ポートフォリオを構築する際に留意すべき最も重要な課題は何か• インフラと不動産は、金利サイクル、インフレ環境、景気減速といった局面において、どのように推移し、どのような点で真

<p>ラットフォームなど、そしてこれらはより広範なインフラおよびエネルギー転換ポートフォリオとどのように統合されるのか モデレーター：アレックス・ベボフ (BAC ディレクター)</p>	<p>に相互補完的な関係を築くことができるのか</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------

<p>講演者：スリニ・ヴィシュワナサン氏 (AltEons Energy 創業者兼 CEO) アレックス・オシンネイド氏 (Gore Street Capital CEO) マイケル・バトラー氏 (TagEnergy 日本担当マネージングパートナー)</p>	<p>モデレーター：カラン・レズニック氏 (PJT Park Hill パートナー) 中村 博信氏 (カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント 代表取締役社長)</p> <p>講演者：竹内丈二氏 (アセットマネジメント One エグゼクティブマネジャー) Ryoichi Ikeda 氏 (東京海上アセットマネジメント シニアファンドマネージャー)</p>
<p>5 分間の休憩</p>	



11:35 パネルディスカッション：プライベートクレジット台頭時代のインフラ債務

- ・ プライベートクレジットの成長において、インフラ債務はどのような役割を果たすのか
- ・ これはインフラエクイティにどのような影響を与えるのか債務の運用資産総額はエクイティを上回るようになるのか
- ・ プライベートクレジットの成長を加速させている資産担保融資現象の影響とは

モデレーター：フレデリック・ブラン＝ブルード氏

(サイエンティフィック・インフラ & プライベート・アセット (SIPA) CEO)

講演者：木村佑氏

(DBJ アセットマネジメント 執行役員インフラ投資本部長)

三沢祥二氏

(オリックス銀行 常務執行役員)

マラト・ザッパロフ氏

(Gore Street Capital CEO)

11:35 パネルディスカッション：実物資産市場における投資ビークルの種類：オープンエンド型ファンドとクローズドエンド型ファンドの構造と成果の理解：オープンエンド型とクローズドエンド型の選択が、実物資産ポートフォリオのリターンプロファイル、運用ペース、流動性、手数料、ガバナンスにどのような影響を与えるか

- ・ 期間と目標の整合：ファンド構造を目標に合わせる
 - 安定的な収益、インフレヘッジ、プラットフォームの成長、価値創造
- ・ 移行 / 開発へのエクスポージャー
- ・ リスク管理と整合性：両モデルにおけるパフォーマンスの透明性、評価手法、償還管理、共同投資アクセスをどのように評価するか

モデレーター：Sayaka Iwase 氏

ファイブ・アローズ・マネジャーズ S.A. 東京支店

ロスチャイルド & カンパニー
ゼネラルマネージャー

講演者：ニコラス・リオルダン氏

(CBRE インベストメント
インフラストラクチャーソリューションズ

シニアディレクター)

小野泰宏氏 (ディープストーン・パートナーズ CEO)

	<p>永田昭仁氏 (ニッセイアセットマネジメント株式会社) オルタナティブ&ファンド投資部門 ゼネラルマネージャー)</p> <p>レン・ウマンツ氏 (ロジャーズ・インベストメント・ アドバイザーズ、外部運用会社調査 部門責任者)</p>
5 分間の休憩	
<p>12:15 パネルディスカッション：日本の インフラ市場の今後はどうなるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池の役割：日本最大のインフラ投資機会となるか 企業、GP、機関投資家はプラットフォームモデルでどのように連携しているのか 日本のエネルギー転換目標、送電網の制約、電化の動向は、再生可能エネルギー、運輸、社会インフラの投資優先順位をどのように変えているのか <p>モデレーター：ダン・シュルマン氏 (シュルマン・アドバイザー 最高経営責任者)</p> <p>講演者：中嶋秀夫氏 大和エネルギー・インフラ 代表取締役副社長 シャー (渡邊) 優子氏</p>	<p>12:15 パネルディスカッション：日本の プライベート市場における若手人材の 採用</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、LP (リミテッド・パートナー) と GP (ゼネラル・パートナー) はどのように、そしてどこから若手人材を発掘しているのか従来の採用ルートはどのように変化したのか この市場を形づくる日本特有の障壁や機会とは何か プライベート市場における効果的な若手人材育成とは何か <p>モデレーター：千葉彩耶氏 (Astris Advisory ファンド・プレイ スメント担当)</p> <p>講演者：末崎桂氏 (アクサ生命保険 資産運用部マネー ジャー)</p>

<p>(ヘキサ・エネルギーサービス会長)</p> <p>岡村研二郎氏</p> <p>代表取締役副社長</p> <p>ヴィルジニー・サンディリヤ氏(自然電力取締役)</p>	<p>櫻井克嗣氏</p> <p>(ハミルトン・レーンプリンシパル)</p> <p>秦由佳氏</p> <p>(株式会社産業革新投資機構(JIC)専務取締役)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

13:00 昼食:

14:00 不動産業界における女性ネットワーキングイベント (PERE 東京フォーラムと共催)

14:05 基調パネルディスカッション-障壁を打ち破る: 実物資産分野における女性の活躍推進

- ・ 真の進歩を推進する: 日本の実物資産セクターで女性管理職比率を高めるために、何を
変える必要があるのか
- ・ 政策から成果へ: 実際に効果を発揮する構造改革とはどのようなものか。また、目に見
える進歩を実証した事例研究とはどのようなものか
- ・ 日本市場とグローバル市場: どの国際的なベストプラクティスを効果的に導入できるの
か。また、どのような分野で独自のローカルソリューションが必要なのか

モデレーター: リサ・ドゥ氏 (ブルームバーグ記者)

講演者: シャー (渡邊) 優子氏 (ヘキサ・エネルギーサービス会長)

藤井夕貴子氏 (丸紅株式会社 電力・インフラアジア・大洋州サービス事業部長)、景山綾子
氏 (日本生命保険相互会社 責任投資部門 イノベティブ・サステイナブル・ファイナン
ス責任者)

